

サードハンド・スモークから 子どもを守ろう！



サードハンド・スモークとは

タバコは煙が消えた後でもその成分がその場に残り、有害物質を放出し続け、それによって健康被害を及ぼすことを「サードハンド・スモーク」といい、「**残留受動喫煙**」、「**三次喫煙**」ともいわれています。

一次喫煙	能動喫煙	自ら喫煙すること
二次喫煙	受動喫煙	自ら喫煙はしないが、他者のタバコの煙を吸わされること
三次喫煙	サードハンド・スモーク (残留受動喫煙)	タバコの煙がなくなっても、壁や衣類などに付着したタバコの煙にさらされること



子どもは特に影響を受けやすい！！

子どもは呼吸速度が速く、また床やカーペットに接することが多いので、物に付着した残留有害物質に触れる機会が多いと考えられます。

サードハンド・スモークの影響を受け続けると、アレルギーや気管支ぜんそく、アトピー性皮膚炎などを引き起こす原因となります。また、脳にもさまざまな影響があることが知られており、家庭内などで受動喫煙をしている子どもは言語能力が低かったり、注意力が散漫になる傾向が報告されています。

子どもはタバコの煙を自分の意志で避けることができませんので、周りにいる大人が守ってあげることが必要です。

目に見えない
タバコの煙

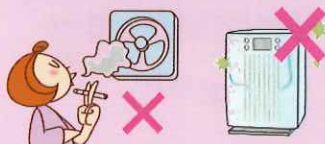


気をつけているから大丈夫だと思っていないませんか？

換気扇・空気清浄機があるから大丈夫？

換気扇の下で喫煙してもタバコの臭いや害を排除することはできません。

また空気清浄機も、タバコの有害物質を除去できないことが取扱説明書に明記されています。



ベランダで吸えば大丈夫？

喫煙後約40分間は、吐く息にもタバコの成分が大量に排出され、その後も微量ながら排出され続けます。また、ベランダでタバコを吸ってもサッシのすき間からタバコの粒子が部屋に入り込むことがわかっています。



加熱式タバコ・電子タバコだから大丈夫？

どちらも通常の紙巻タバコと同様に「有害性」がありますので、健康被害の低減につながらないだけでなく、周囲の人に健康被害を生じさせるリスクもあります。



タバコの煙や臭いのする所に子どもを近づけないことが大切です

全面禁煙のお店を選ぶ



このステッカーが目印です

タバコを吸う人は禁煙する



※市内の「禁煙外来・禁煙支援薬局」の情報は市のホームページをご覧ください。

子どもの前ではタバコは吸わない



※タバコの臭いのついたものは洗濯したり、掃除機や拭き掃除などで除去しましょう。